



まつばら

令和 4 年 度
第 6 号
令和 4 年 10 月 3 日
草加市立松原小学校



秋の到来と新しい力

校長 中村 哲也

早いもので、新学期に入りひと月がたちました。朝晩がずいぶんと涼しくなり、日没の時刻も早くなってきました。今年の「猛暑」の日々が懐かしく感じられます。涼しい季節を迎え、松原っ子たちも、勉強、運動に一生懸命取り組んでいます。

さて、今月は、子どもたちの学力を向上させるための本校の取組を紹介いたします。まず、学習面では、一人ひとりの学力向上を図るために、教員の指導力向上を目指し、授業改善を図っているところです。特に今年度は国語科指導に重点を置き、研修を重ね、教員一人ひとりの力量を上げ、指導力のレベルアップを図っています。2学期には研究授業を実施し、指導者を招きながら、全教員で協議し「わかる・やりがいのある授業づくり」の実践に取り組んでいるところです。特に交流活動を重視し、「学び合い」によるよりいっそうの「考えが広がる、深まる」授業を展開し「わかるまで」考え抜く授業を展開するよう心掛けています。授業の課題に対し、自分の考えをもち、話し合いの準備に入る。次に、話し合いを通して、解答への導きかたを議論する。その中で、考えを発表する時間では友だちの意見を聞き、考えを広げます。また、授業終末の「ふりかえり」を重視し、単なる知識の蓄積ではなく、「学び方を学ぶ」意識をもって、1時間1時間の授業を積み重ねていきます。特に、タブレットを必要な場面で活用し、考えを見える化し、自分の考えを大型テレビに映し出しながら発表したり、友だちの考えを聞き合ったりする中で、子どもたちの瞳も輝きを増していきます。教師の板書も「わかりやすさ、要点、解法の手順」などを黒板一枚にまとめ、思考の流れがわかりやすくなるよう工夫しています。今後も、教員間で指導法の改善をさらに進めてまいります。



対話を重視した授業づくり

さて、以前のブログで紹介した若木のことを覚えていらっしゃいますでしょうか。



本校北東部にあるモミの木が害虫により枯れてしまい、安全のために残念ですが切り倒しました。作業を始めようとしたところ、健康な若木が傷んだ本幹に沿うように成長していることが分かり、傷つけないよう処置しました。地域の方に伺ったところ本校の樹木は樹齢約 50 年ほどだそうです。この若木が周りところう頃には今の1年生でも随分と大人になってからなのだなぁと感じ、自然の力強さと世代交代を感じさせてくれる一コマでした。(令和3年1月26日まつばらブログより)

それが7か月ほど経ち、ここまで大きく成長していました。自然の力強さと、生きようと生物の尊さを感じます。また、将来を担う新しい力をもち生き生きと社会に巣立っていく今のまつばらっ子たちとの姿とも重なります。命を大切に、力強く生きる力を持てるようにそして子どもたちが生き生きと自分らしさを伸ばせるよう今月も全教職員で指導に当たってまいります。

保護者の皆様ならびに地域の皆様方には、今まで同様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



暑さ寒さに負けずすくすくと